2月7日(金)～9日(日)
ようこそ冬の伯耆町へ
～沖縄県読谷村・伯耆町教育交流～

平成26年に教育協定を締結した沖縄県読谷村渡慶次（よみたんそんとけし）地区の交流団、17人（小学生9人、高校生2人、引率6人）を2月7日（金）から9日（日）まで受け入れました。

今回の交流では、砂丘見学、雪遊び、文化交流、パートナーの家庭での民泊などを行い、沖縄の子どもたちは初めて体験する雪遊びに大はしゃぎでした。

文化交流会では、沖縄の伝統的な踊りや鬼面太鼓の演奏、伯耆町の子どもたちの傘踊りなど多彩な演目で、充実した文化交流となりました。今回の交流では、夏に築いた友情をより一層深めたように思います。

渡慶次自治会区長の小橋川清史さんは「この沖縄交流で読谷村から伯耆町へ来た人の数が、延べ200人を超えました。交流が今も続いている家庭もあります。また沖縄交流に参加した子どもたちが大人になって、今は地域を担って活躍する人材に育っています。長年のこの交流に感謝しています。」と話しました。

この交流が、両町の子どもたちの末永い友情を育み、心豊かな大人に成長するきっかけとなってくれることを願っています。

▲太鼓演奏体験の様子

▲雪遊びを楽しみました

2月22日(土)～24日(月・祝)
令和の公民館まつり
～たたらまつり開催～

二部地区恒例の「たたらまつり」が2月22日（土）から2月24日（月・祝）、二部公民館で開催され、多くの人で賑わいました。

たたらまつりでは、特別展として、地域の歴史や伝統行事に関する展示を毎年行っています。今年は、「令和元年時代めぐり」と題し、元号の出典元となった万葉集にちなみ、万葉時代の衣装の展示や、明治から現在に至るまでの二部地区の歴史に関する展示が行われました。

そのほか、公民館教室や同好会の絵手紙や生け花、地域住民の手工芸品などの作品展示、二部地区の農産物と加工品の販売も行われ、二部小学校の児童が自分たちで育てた椎茸を販売したほか、地元の野菜をふんだんに使ったきのこ汁や、ぜんざいが振る舞われました。

訪れた人は、二部の歴史を感じながら、まつりを楽しんでいる様子でした。

▲力作がそろいました

▲特別展の様子